

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

メチルジサルファイドのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

### 試験番号

8 B 7 1 2 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203 「魚類毒性試験」 (1992年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質：   メチルジサルファイド
- 2) 暴露方式：   半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物：   ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間：   96時間
- 5) 試験濃度 (設定値)： 対照区, 0.250, 0.500, 1.00, 2.00および4.00mg/L (公比 ; 2.0)
- 6) 試験液量：   5.0L
- 7) 連数：       1 容器 / 濃度区
- 8) 供試生物数： 10尾 / 濃度区
- 9) 試験温度：   24±1℃
- 10) 照明：       16時間明 / 8時間暗
- 11) 被験物質の分析： G C 法

### 結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度： 測定濃度の設定濃度に対する割合はすべての濃度区において±20%以内であった。したがって、結果の算出は設定濃度に基づいて行った。
- 2) 96 時間の半数致死濃度 (LC50)： 1.13 mg/L  
(95%信頼区間： 0.73mg/L～1.81mg/L)